

## しながわ水族館周辺の桜

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2020年04月08日

しながわ区民公園内の改修工事が段階的に進められ、令和元年8月から南側ゾーン、しながわ水族館周辺の改修が進んでいます。今年の夏以降、広い芝生広場や水辺に接することができる砂浜で、家族が楽しむことができるようになると思います。

3月14日靖国神社の標本木での桜の開花発表がありましたが、水族館周辺にある桜2本の開花は3月18日頃でした。卒業式シーズンに桜が咲き始め、長く楽しめるはずでしたが、「新型コロナウイルス」感染拡大でお花見も自粛・・・窓越しの花見となりました。

2月29日 ○で囲んだところが桜の木です。



3月29日 気温 7.7℃と真冬の気温（前日の気温 24℃）🌸満開の桜もびっくり！  
花吹雪のように見えますが、吹雪です。



4月5日 暖冬で桜の咲く時期にバラツキが出ているようで、一枝で5部咲き、満開、葉桜が見られ、長持ちしています。そろそろ花吹雪が見られそうです。



令和2年4月6日  
環境記者 真壁美枝子

---

カテゴリ : 令和2年度

投稿日 : 2020年04月08日

## きれいなった花壇

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2020年04月08日

私が勤務する東京サラヤ(株)本社の花壇をご紹介します。

食草園を兼ねた花壇は、春の日差しを浴びて今満開です。

剪定作業時には「きれいですね」などと声をかけていただき、非常にうれしい思いをします。

新型コロナウイルス感染の拡大防止のため緊急事態宣言が出ましたが、暗いムードを明るくしてくれます。



玄関

旧海岸通側

山手通り側



令和2年4月7日

環境記者 小野文義

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2020年04月08日

## 八潮クスノキの話 ～4月～

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2020年04月23日

この写真は京浜運河緑道公園で撮った楠（クスノキ）です。空に近いところが赤い！紅葉しています。でも、下の方は萌黄色で若葉がゆさゆさと揺れています。



赤い葉は落葉し、緑道公園の歩道脇にこんもりと降り積もっています。これって、温暖化現象???

いいえ、そうではありません。クスノキ（常緑広葉樹）は4月頃に古い枝の先から新しい芽吹きが見られると、古い枝についている葉が紅葉し、落葉します。新旧が同時に変化・進行しながら入れ替わり、5月～6月にはクリーム色の雌雄両株の花をつけるそうです。一部、秋にも紅葉が見られるようです。赤い落葉からは、もちろん樟脳の香りが漂ってきます。

時間に余裕をもって散歩をしていると、様々な発見に出逢います。今までは見過ごしていた「こと・もの」です。また、インターネットの発達ですぐ調べられます。不思議を解決するのにも時間がかからなくなりました。さあ、子供時代まで若返って、「どうして?」「あれ、何?」って五感で自然を感じてみませんか!

<参考>

<https://www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/special/yama/news/2016/160406cinnamomum.htm>

<http://www.cc.mie-u.ac.jp/~tsatou/kusuweb/011.html>

<http://jimuhp.kyokyo-u.ac.jp/wonderful/enviro/kusunoki.html>

<http://www.jugemusha.com/jumoku-zz-kusunoki.htm>

令和2年4月21日

環境記者 小滝静子

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2020年04月23日

## ブルーインパルス飛行で医療従事者に感謝

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2020年06月01日

航空自衛隊は5月29日、新型コロナウイルス感染症に献身的に対応してくださっている医療従事者などに敬意と感謝を示すため、アクロバットチーム「ブルーインパルス」による展示飛行を行いました。

東京都区部上空を2回飛行しましたが、そのルートはこちらで、品川区内からもよく見ることができました。



新型コロナウイルス感染の問題は、環境面での改善につながっているという皮肉な結果が指摘されています。新型コロナウイルス感染症により世界各地で都市封鎖が行われ、外出移動などが制限され、社会経済活動が大きく縮小しました。交通量は減少し、工場は稼働停止や操業短縮等を余儀なくされ、その結果大気汚染が改善されたのではないかということです。産業革命前とは言わないまでも、環境問題が指摘される前の時代を思えば、納得できません。しかし、これで環境面の改善がなされても決して喜ばしいことでないことは言うまでもありません。

首都圏4都県と北海道が最後に緊急事態宣言が解除されましたが、決して気を緩めることがないように、新しい生活様式を実践したいものです。

令和2年5月30日

環境記者 石田雅子

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2020年06月01日

# 「花交差点の仲間たち」歩道花壇の植替え

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2020年06月08日

日時：令和2年5月31日（日）9：00～10：00

参加者：49名

南大井2丁目（大森海岸駅前～しながわ水族館入口）国道沿い歩道花壇の植替えを行いました。

「新型コロナウイルス」で自粛要請があり、住民全体への呼びかけは止め、少人数で三密（密閉・密集・密接）対策（マスク・手袋・1m以上間隔を空け会話も最小限）をして実施しました。

東京国道事務所の立会いと大井警察署のご協力で事故もなく無事終わることができました。

「緊急事態宣言」は解除！でもまだまだ自粛は続きそうです！植え替えたばかりの花たちを眺めたら、歩道を行き交う人びとの気持ちも少しは明るくなり頬が緩むのでは・・・(\*^\_^\*)

今回もお馴染みの花苗「ペンタス・日日草・・・」ですが、新しく「レウカンサアメジスト」が仲間入りしました。

南大井2丁目の8棟のマンションの何処かに植わっています。探してみてください！(^)/



ペンタス



サルビア



メランボジューム



ニチニチソウ



マリーゴールド



ジニアプロフュージョン



レウカンサアメジスト



トレニア



ラベンダー

植えたばかりの花苗は  
小ぶりですつぼみが多い  
ですが7月頃にはこの  
ような花を咲かせます  
(\*^▽^\*)



大森ハイツ



パークハイツ



海岸ハウス



LM大森



LM大森海岸



LM大森第三



日興バレス



パークフロント

令和2年6月2日 真壁美枝子

---

カテゴリ: 令和2年度

投稿日: 2020年06月08日

## 私の散歩道 ～4・5月～

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2020年06月12日

4月7日に東京都では緊急事態宣言が発令され、5月25日に解除されました。桜に始まり、ツツジ色に街を染め、今は紫陽花が咲き始めています。生き物たちは、人々の緊急事態を横目に季節を進めていました。いつもと変わらない自然をご覧ください。今回の散歩道は「花海道」です。

### 1) 4月17日 ムクドリ&ヒヨドリ



### 2) 4月26日



### 3) 5月11日

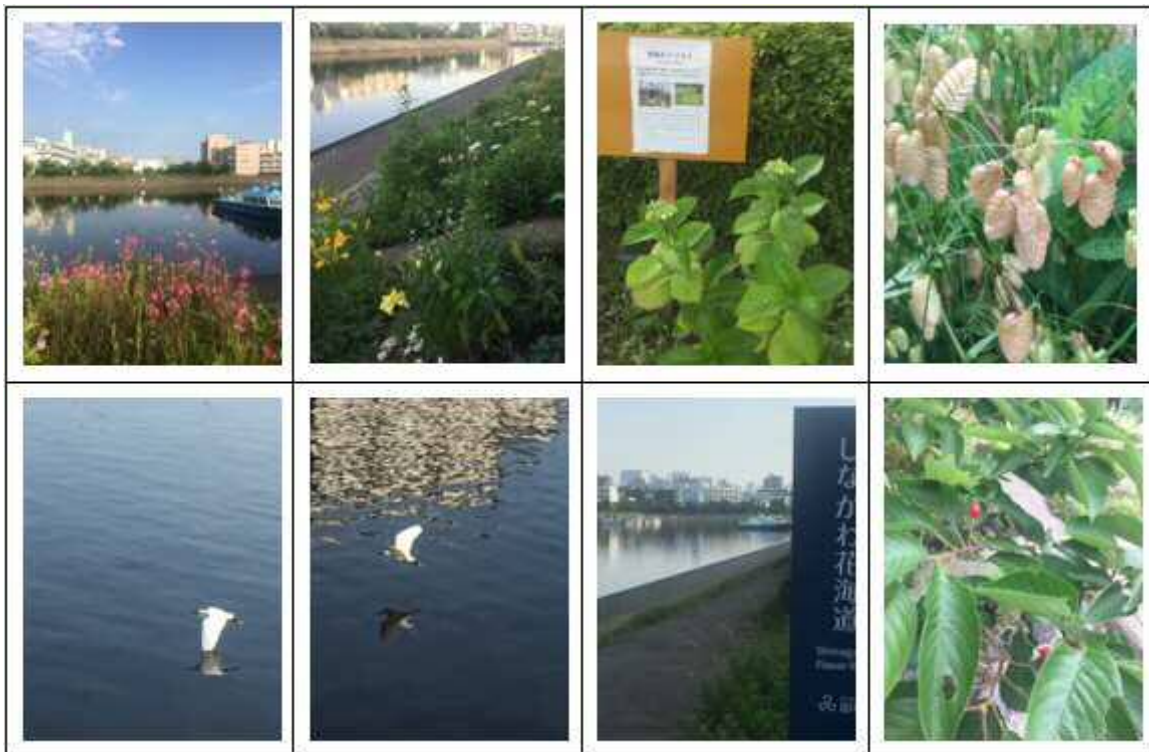




4) 5月23日



5) 5月30日



6) 6月8日 坂井市の百合(下左写真)と鯨洲入江広場のヤマモモ  
 昨年、品川区が福井県坂井市から市の花であるユリの球根の寄贈を受け、花海道の一區画に植えられたもので、丁

度見ごろでした。



7) おまけ 立会道路&八潮（6月5日）



令和2年6月8日

環境記者 小滝静子

---

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2020年06月12日

## 生ゴミコンポスト

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2020年06月17日

緊急事態宣言が解除されて少し経ちましたが、東京も梅雨入りし外出は控えめに自宅過ごす方も多いと思います。そこで気になるのが家庭ごみの増加です。

我が家では去年の秋頃からベランダで生ゴミコンポストをしています。生ゴミコンポストとは、生ゴミを堆肥に変える処理方法です。コンポストは様々な方法がありますが、私は初心者でしたので説明書付きのキットを購入して始めました。最初に購入したのは段ボールコンポスト、今は袋タイプの違うメーカーのものを試しています。

少しお見苦しいゴミの写真ですが、、、

左下の写真のように、生ゴミを小さく刻んで投入しよく混ぜます。虫が入らないようにしっかり閉めて置きます。翌日には、時々右下の写真のように白いカビが見られることもあります。これは好気性菌と言って発酵がうまくいっている証拠なのだとか。分解が活発になるとコンポストが温かくなります。



毎日大体300g前後の生ゴミを入れているので、始めた時から結構な量の生ゴミを自宅で処理できたと思います。生ゴミの水分量は約8割だそうです。捨てる際はしっかり水切りするだけで焼却効率が向上し、CO2削減になります。

コンポストにご興味のある方は、ぜひネットなどで検索してみてください。便利なキットがたくさんありますので初心者でも始めやすいと思います。ゴミが土に還ることを体験するのはとても面白いですし、都会にいながら微生物の力や自然のサイクルを実感できます。

夏休みの自由研究として、子どもさんと一緒に試すのもおすすめです。ただし、今年の自由研究はどうなるでしょうか？

令和2年6月15日

環境記者 岑山萌子

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2020年06月17日

## みどりと花のボランティア活動報告

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2020年06月24日

6月17日（水）15時から約40分間、社内有志4名で聖蹟公園（北品川2-7-21）の花壇の花植替えを行いました。私たちは「品川フラワーレンジャー」という団体名で、品川区が推進している「みどりと花のボランティア活動」に参加しています。

### ■聖蹟公園の様子

子どもたちが暑さに負けず元気に遊んでいました。



### ■植替えの準備

花の植替え開始前に生い茂った雑草を抜いてから土を耕し、植替えができるように下準備をしました。



### ■花植替えの様子

日日草やサルビアなどを植えました。



## ■植替え完了



## ■花壇の前で記念撮影



## ■参加者感想

・午前中に小野さん（環境記者の私）が耕してくださっていたのでスムーズに作業ができました。梅雨の時期でしたが、真夏のような暑さで汗を流しつつ植え替えができました。

・きれいな花を見ていると癒されますし、作業をしたので親近感もわいてきます。

暑さに負けず、長く咲いていてほしいと思います。

・暑い中での作業でしたが、スムーズに作業を終えることができ、新しく仕上がった花壇を見るととても癒されました。

・最初は何もなかった聖蹟公園の花壇に綺麗なお花を植えていく中で、都心とは思えないような多くの蝶々や昆虫が元気に活動しているのを目にしたり、初夏の暑さを体感することができました。

長期間の自粛の中では気付かなかった季節の移り変わりを感じ、清々しい気持ちでした。

梅雨時期ですが、元気に皆で植えたお花が育ちますように。

令和2年6月22日

環境記者 小野文義

---

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2020年06月24日



## 会社の花壇の花植替え報告

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2020年06月24日

6月17日（水）15時から1時間かけて、私が勤める東京サラヤ㈱（東品川1-25-8）の本社花壇の花植替えを行いました。建屋がちょうど日陰になっての作業でしたが気温は30℃と暑く、みな笑顔で植替え作業を行い、無事終わることができました。これで今回植えた花は秋まで咲き続けます。

■参加者 10名

■植替え作業の様子



■植替え完了

植えた花は一週間ほどで根が落ち着き色鮮やかになります。



■参加者全員で記念撮影



## ■参加者感想

- ・花の植替えをしている際、通りすがりの方から「サラヤさんはいつも花をきれいにしていますすごいね」とお声がけしていただきました。今回私たちが植替えた花を見て、心が癒される人が少しでも多くいたら嬉しいです。
- ・様々な色や種類のお花があり、とてもきれいに植え替えることができました。花を植えていると、通りすがりの方が見ている声をかけてくださり、社員だけではなく、街の方にもきれいだなと思っていただける場所なんだと知りました。
- ・6月に入り、当社周辺も次第に人通りが増えてきたので、今回植え替えた花が道行く人の癒しになると良いなと思います。心地よい風の中、作業を通じてリフレッシュすることが出来ました。
- ・初めて参加しましたが、思った以上の力仕事に驚きました。

鮮やかな色合いでとてもきれいな花壇になりましたので、通行される方々の癒しにもなればよいなと思いました。

- ・土を触るのが久しぶりで、とても懐かしくいい経験ができました。これからきれいな玄関を見られると思うと出社が楽しみです。
- ・植えた後の花壇は綺麗に映えており達成感を感じました。元気に育ってくれれば嬉しいです。

最後に

10年以上前に品川区環境情報活動センターよりご指導いただき、昆虫たちの食草園としてはじめた花壇は地域の景観にも良い役割も果たしています。今後も継続して全職員参加型で維持管理をしていきます。

お近くにお立ち寄りの際には、ぜひご覧ください。

令和2年6月22日

環境記者 小野文義

---

**カテゴリ** : 令和2年度

**投稿日** : 2020年06月24日



## 「花交差点の仲間たち」月例活動

**カテゴリ**：令和2年度

**投稿日**：2020年06月26日

---

**日時**：令和2年6月14日（日）9:00～10:00

**参加**：27名

**場所**：大森海岸駅前歩道橋～しながわ水族館入口までの歩道橋清掃と花壇整備

新型コロナウイルス感染予防のため、3月から月例活動を自粛しており、4か月ぶりの活動です。

梅雨入りし雨が降ったり止んだりでしたが、活動開始時刻の9時頃には一時的に止み、定例活動をすることが出来ました。花壇は5月末に植えかえたばかりで、枯れた花や雑草は少ないので、歩道橋清掃を重点に行いました。



歩道橋清掃も4か月ぶり 雑草がのびのび！  
汚泥で排水溝口が目詰まり 水たまりができていました (>\_<)

歩道花壇の「イングリッシュ ラベンダー」  
10本あまりが見ごろになっています。  
ボランティア発足時のシンボル花です。  
十数年前の古木もあります。  
今年も立派に花を付けました。  
摘み取って編み込みやドライフラワーにし  
て楽しんでいます(\*^-^\*)



令和2年6月15日  
環境記者 真壁美枝子

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2020年06月26日

## 私の取り組み～プラスチックごみ～

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2020年07月07日

6月5日は「環境の日」、6月は「環境月間」、そして7月1日からコンビニやスーパーマーケットのレジ袋の有料化がスタートしました。外出自粛心がけるようになって約4ヶ月。気になっていることがあります。



肉や魚をスーパーマーケットで購入すると、使い捨てのプラスチック製容器類が結構たまる。外食が激減した反動。環境に配慮した使い捨てプラスチック製品もあるようだが、私たちには見てすぐに判別できないし、ごみになるのは同じ。国連環境計画（UNEP）は代替レジ袋に対して、「地球温暖化などの面で弊害が大きく、環境負荷の軽減効果が低い」との報告書を6月29日にまとめています。

私は海や海の生き物たちが大好きです。海洋に出たプラスチックごみの匂いが好きらしいウミガメが人間による被害に遭わずに一生を終えて欲しい。今、私が出来ることは何か？

レジ袋の代わりに折りたたみのマイバックを持参しています。となると、次のターゲットは使い捨てのプラスチック容器類。そこで、スーパーマーケット内にある対面販売の肉屋で購入してみました。ここでは計量して表面に防水加工した経木（きょうぎ：非常に薄い木の板）風の紙包装に値段シールを貼ってくれました。よしよし！次に商店街のお魚屋さんへ寄ってイワシを一皿3匹買いました。こちらは少し厚めのビニールにごそっと入れて紙で包んでくれました。プラスチック容器より嵩張らないけど、ちょっと残念。でも本当の事をお伝えすると、内臓をとってくれたうえ、もう一皿残っていたイワシまでおまけしてくれました。おじさん、ありがとう！スーパーマーケットと違って、レジに並ばなくても良いのも新生活時代の私たちにとっては、よしよし。

まだ、我が家のプラスチックごみの削減計画は目に見える実績として現れていませんが、予感があり、です。新しい生活様式の模索は、試行錯誤する楽しみや周辺地域の人とのつながりも広げてくれています。その行動が環境への配慮にもつながるとなれば一挙両得、いえ三方良しになるかもしれませんね。ワクワク。

<参考WEBサイト>

国連ニュース：

<https://news.yahoo.co.jp/articles/9fa2549125caec2879bed5b742c2f25159f9ee30>ウミガメニュース：

<https://www.newsweekjapan.jp/stories/world/2020/03/post-92689.php>

令和2年7月3日

環境記者 小滝静子

カテゴリ : 令和2年度

投稿日 : 2020年07月07日

## 聖蹟公園清掃美化活動実施報告

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2020年07月15日

私が勤める東京サラヤ(株)の有志が、ほぼ定期的に行っている聖蹟公園清掃美化活動の実施報告です。

実施日時：2020年7月10日(金) 8:30～

まだ雨が上がっていませんでしたが、開始時刻には雨も上がり、清掃美化活動を開始しました。

■参加者は私を含めて3名です。

先月植えた花壇を見ましたら雑草が結構な数で生えていたので、まずは草花が弱らないように草抜きからはじめました。

■花壇の草抜き

先月の草花植替えの様子



御覧の通り草抜きをして整えました。



■遊具簡易点検

聖蹟公園には滑り台、ブランコなどの遊具があります。清掃時には毎回、目視で汚れや破損がないか簡易点検をし

ています。



#### ■園内ゴミ拾い



#### ■参加者感想

公園内を一通り回ったのですが、殆どごみはなくきれいな公園でした。  
少し暑い中でのゴミ拾いでしたが、スッキリした気持ちになりました。

令和2年7月10日

環境記者 小野文義

---

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2020年07月15日

## 「しながわ花海道 美化活動」参加報告

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2020年07月17日

7月11日（土）、しながわCSR推進協議会合同活動「しながわ花海道 美化活動」に参加してきました。しながわCSR推進協議会は、企業と区との協働で企業の社会貢献活動を推進することを目的として活動しており、その活動の一つとして「しながわ花海道 美化活動」があります。

私が所属する東京サラヤ(株)は同協議会の会員として活動に参加し、私を含めて3名でコスモスの種まきを行いました。秋には一面のコスモス畑になることでしょう。

またこの活動は、社会貢献活動に対する参加者への意識啓発や会員の交流促進、区・地域への愛着、協議会の区民へのPRの推進などの目的もあります。

東大井区民集会所に集合（10:00）



勝島運河護岸約2kmにわたり菜の花やコスモスを植えている「しながわ花海道」（写真中央部分）



種まきをする花壇は傾斜になっており、草抜きをするにも転ばないように体勢を維持しながらの作業で結構足腰にきます。



クワで土を起こしてそこに種をまき、その後種の上に薄く土をかぶせて踏み固めます。

なんとか無事終了。

作業を一生懸命やって髪の毛は乱れ、皆さん疲れ切った様子ですが、やり遂げたことに満足しています。



私たち東京サラヤ(株)の花壇のすぐ隣には、ご覧の通り企業の花壇が並んでいました。



この取り組みは、春は菜の花、秋はコスモスと年に2回開催されます。8月中旬にはコスモスの花が開き始めますので、開花した際にはその様子を報告します。

<参加者の感想>

- ・勝島運河護岸は春先には菜の花が咲き誇る事は知っていましたが、各企業が積極的にしながわCSR推進活動に参加していたとは知りませんでした。
- ・コロナ禍の中、満開になった際には一服の清涼剤になれば良いと思います。
- ・梅雨明けが待ち遠しい中、雨が心配でしたが、作業時間中は日差しが弱く風があり、気持ち良く作業をすることが出来ました。
- ・久々に土や草を触り、土を掘り起こすと虫が湧いて出てきてびっくりしましたが、自然を感じることができ、有意義な時間を過ごせました。朝の通勤時間に立ち寄れる場所にあるのでコスモスの満開まで時々見に行きたいと思います。

令和2年7月16日

環境記者 小野文義

---

**カテゴリ:** 令和2年度

**投稿日:** 2020年07月17日



## この夏の一冊

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2020年08月12日

梅雨が明けた東京は、毎日太陽が照りつけ、セミがここぞとばかりに大合唱。ジージー、カナカナ、ミ〜ンミンミ〜ン……。そんなセミの世界には、恐ろしい感染症が存在するらしい。

“病菌が操る「ゾンビゼミ」、腹部脱落したまま飛行・交尾で感染拡大”

この衝撃的なタイトルにつられてインターネット記事を読んでしまいました。感染すると腹部を食い落とす「マツソスポラ」菌。自分の胞子を食い落とした部分と入れ替え、宿主を殺さず生かし続けながら胞子を撒き散らす。なんと凄い生命力！

私たちヒトの世界では、新型コロナウイルスが感染を拡大しています。ところで、ウィルスって何？ウィルスは宿主を殺してしまえば、自分も生き残れないっていうけれど、どうして宿主を殺してしまうの？ウィルスってどんどん変異するっていうけれど、なぜ？そんな疑問を教えてくれる一冊に出会いました。タイトルは

“ウィルスは悪者か お侍先生のウィルス学講義”

著者：高田礼人、出版：亜紀書房、

発行：2018年11月9日



高田先生は北海道大学人獣共通感染症リサーチセンターの教授。エボラウィルスやインフルエンザウィルスなどの伝播・感染メカニズム解明や診断。治療薬開発の研究を行っているそうだ。

表紙のデザインはウィルスの模式図（わかりやすく特徴を捉えた細胞の図）

ザンビアでのエボラウィルスの「自然宿主」探しから始まり、香港での「高病原性鳥インフルエンザ」のヒトへの感染経路の調査や、アラスカやシベリアでのカモ（インフルエンザウィルスの自然宿主）の糞拾いとご自身の体験談から、ウィルス研究実験室の構造から防護服・創薬研究まで、今私たちの身近にいるウィルスについて、比較的わかりやすく書かれています。印象に残ったところの要約・抜粋を下記に挙げてみました。目に見えない相手でも、知ることによりむやみに恐れる気持ちが薄らいでいきます。また、30年前の岐阜新聞朝刊の見出し「2020年、人類の半数が伝染病に」がSNS（会員制交流サイト）上で話題となっているそうです。地球温暖化問題だけでなく、「自然宿主」の環境を侵食してきたヒトの責任についても考える機会も与えてくれます。この夏の一冊＝ステイホームのお伴として手に取ってみてはいかがでしょうか！？

<要約・抜粋>

- 「生物の定義」では3要件が存在する。

- (1) 自己と外界との「境界」がある。
- (2) 自己を「複製」して増殖する。
- (3) 自身で「代謝」を行い、生命維持や増殖に必要なエネルギーをつくり出す。

ウイルスは、(1)と(2)はYESであるが、(3)については単独で自律的に増えることができない。その意味では「無生物的」。でも、生物に感染し、細胞内への侵入に成功すると、その仕組みを活用し、ときには細胞そのものに乗っ取り、自身を増殖させる。その段階では(1)の「境界」がなくなる。ということで、ウイルスは、生物と無生物の中間に位置する「曖昧な存在」である。(p26~40)

●自然界におけるウイルスの生態を考えるうえで、「宿主域」という重要な概念がある。ある特定のウイルスは、多くの場合、特定の宿主生物にしか感染できない。「宿主の壁」とも呼ぶ。この壁を乗り越え、自然宿主である野生動物からヒトに感染することがある。偶然に感染が成立し、かつ、宿主が重い病気を引き起こさないと感染成功。しかし、ごく稀には、病原性や致死性が高いウイルスに生まれ変わることもある。宿主に利益をもたらすウイルスも存在する。内在性レトロウイルスの遺伝子からは、哺乳類の胎盤形成の際に重要な役割を果たすタンパク質を発現する。ヒトはウイルスと「共生」している。(p83~91)

●ウイルスの感染によって致命的な病気を発症するのは偶然の産物でしかない。さまざまな条件がたまたま合致しただけのことだ。ウイルスからしてみれば、自身の遺伝子を増やして残しているにすぎない。ウイルスに意思がない以上、ヒトを傷つけようとする「悪意」が存在するはずもない。宿主を殺してしまえば、ウイルスは自らの生存の土台をも失う。ウイルス感染症への向き合い方は、ウイルスの生存環境に踏み込んで行った私たち人間が、考えていかねばならないことなのである。(p345~346)

<参考WEBサイト>

セミのニュース

<https://www.cnn.co.jp/fringe/35157666.html>

岐阜新聞のニュース

<https://www.gifu-np.co.jp/news/20200727/20200727-259604.html>

令和2年8月6日

環境記者 小滝静子

---

**カテゴリ** : 令和2年度

**投稿日** : 2020年08月12日

## 八潮セミとり日記 ～8月～

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2020年08月26日

今週末は二十四節気の処暑（8月23日頃）、暑さも和らぐとの予報も出ています。とはいえ、八潮の森は相変わらず夏真っ盛り。今年は子供たちの声が少ないところをセミたちが大いにその穴を埋めてくれています。そこで、子供の頃に帰って、「セミとり」に挑戦してみました。白い網を持って、虫かごをぶら下げて。いえいえ、そうではありません。スマホ片手に、ここぞと思った木の下へ行行って、動画や録音でセミの鳴き声を撮ってみました。さて、八潮ではどんな蝉の音が聞けるでしょうか？まずは、午前中に木陰を移動しながら、「あっ！この鳴き声は！」という場所で録画スタート。ところが、動画を再生してみると、あまりどの蝉なのか区別が付きません。おまけに、動画なのにちっとも蝉たちの移動がない。さっきまで飛び回っていたのに・・・。



<https://youtu.be/fC67R9RT7EU> <https://youtu.be/iqFHnjNfXbs>

そこで作戦変更。自宅のベランダで音だけを録音してみました。朝5時、8時、11時、21時。時間によって、よく聞こえる鳴き声に違いがある！実は、散歩に出た時にも木の下で録音に挑戦したのですが、スマホを出してスイッチを入れる前に、どの蝉たちにも警戒されてしまい、大失敗。

<録音> ↓その時間の音声ファイルが再生できます。

5時      8時      11時      21時

インターネットで、関東でこの時期に鳴きそうなセミの鳴き声について調べてみました。（参考：

<https://hanasjoho.com/archives/115>）

ヒルハルゼミ   ギーオ   ギーオ   ギーオ（夕方）  
ニイニイゼミ   チー   ジー（1日中）  
クマゼミ   ジー   ジー   ジー（日の入り頃、薄明るい時）  
ヒグラシ   カナカナカナ（日の出前、日の入り頃、薄明るい時）  
アブラゼミ   ジー   シャン   シャン   シャン（日の出～正午）  
ミンミンゼミ   ミーン   ミン   ミン   ミン（午前中）  
ツクツクボウシ   オー   シー   ツクツク（昼過ぎ～日没）

鳴き声は他にも様々な表現がありますし、ユーチューブでは姿写真とともに鳴き声が聞けるものも数多く見つかります。八潮の夏の合唱団・セミしぐれを楽しんでみませんか？

さて、最後に八潮の夏の写真をお目にかけてみます。ただし、セミたちは先日天王洲アイルで撮ったものです。八潮では写真が撮れる位置に、セミを見つけられませんでした。夜景は八潮橋と東京モノレールの大井競馬場前駅です。



令和2年8月21日  
環境記者 小滝静子

カテゴリ : 令和2年度

投稿日 : 2020年08月26日

## 綿100%の「ふきん」で食器洗い

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2020年09月29日

---

みなさん、家庭で使っているスポンジがマイクロプラスチックの集合体であることをご存知ですか？マイクロプラスチックとは、大きさが5mm以下のプラスチックのことです。スポンジはナイロンやポリウレタン、ポリエステルなどの化学繊維で作られています。このスポンジがお皿や浴槽を擦る時に小さく削れて排水溝に流れ、最終的には海に流れて行ってしまいます。プラスチックは半永久的に自然分解しません。このまま行くと2050年には海のプラスチックごみの量が魚の総重量を上回るそうです。

そこで私は綿100%のふきんで食器洗いをしています。といっても普通のふきんではなく、落ち綿を紡いだ糸で織られたふきんです。



しかも凸凹した糸が油汚れをしっかり吸着するので洗剤なしで、基本的に湯洗いで油汚れは落ちます。それでも落ちなかったら米の研ぎ汁を洗剤代わりに使います。なのでプラスチックごみも出さない、洗剤も使わないとても環境に優しいアイテムです。この機会に切り替えてみてはいかがでしょうか。

令和2年9月28日

環境記者 真田千加子

---

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2020年09月29日

## 聖蹟公園清掃美化活動報告

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2020年10月06日

東京サラヤ(株)の社員が有志を募って「品川フラワーレンジャー」という活動名で“みどりと花のボランティア”に参加しています。2020年9月29日（火）、薄曇り、気温22℃と暑くもなく寒くもない、ようやく秋らしい天候のなか、3名で聖蹟公園の清掃と花壇の草抜きを行いました。



### ■花壇の草抜き・・・ビフォー&アフター

「品川フラワーレンジャー」が管理している花壇です。草抜き前と後でわかりますか。



### ■清掃

空き缶、針金、吸い殻など拾いました。



#### ■記念撮影

会議の前に活動していただきました。

遊具の目視簡易点検も行い無事終了。記念撮影です。お疲れ様でした。



#### ■参加者の感想

・ゴミ拾いに夢中になり、いつの間にか公園西口の北品川商店街まで行ってしまいました。  
暑くなく気持ちよくできました。

・花壇のそばに吸い殻が落ちていました。灰皿が無いのに吸う方のマナーが・・・  
全体的にはごみは少なく、綺麗な公園でした。また参加したいと思います。

令和2年10月5日

---

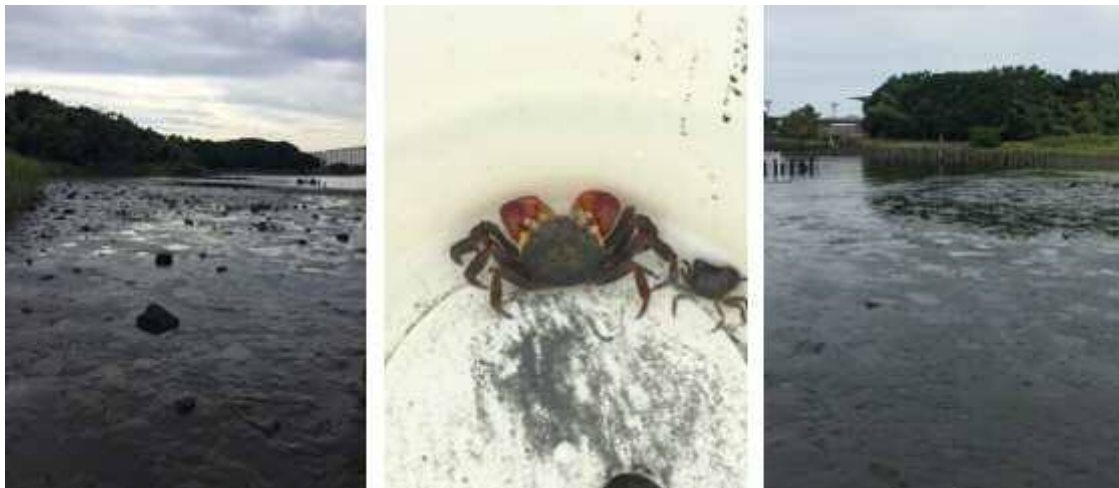
カテゴリ：令和2年度

投稿日：2020年10月06日





<開講日当日>



<翌日八潮団地側の野鳥観察窓から>



<参考WEBサイト>

環境講座「何がいるかな？品川の水辺の生きものたち」

[https://shinagawa-eco.jp/eco\\_kouza/eco\\_kouza\\_detail.php?tgt=3962](https://shinagawa-eco.jp/eco_kouza/eco_kouza_detail.php?tgt=3962)

環境レポート更新★「何がいるかな？品川の水辺の生きものたち」

<https://shinagawa-eco.jp/wp/kouza/?p=4699>

運河の生きもの

<http://keihin-unga.life.coocan.jp/ikimono.htm>

令和2年10月6日

環境記者 小滝静子

---

**カテゴリ**：令和2年度

**投稿日**：2020年10月07日

## 海洋プラスチック問題啓発船「レース・フォー・ウォーター号」がやってきた

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2020年10月08日

2020年9月25日（金）、東品川二丁目防災棧橋（モノレール天王洲アイル駅東）に、海洋プラスチック問題への啓発活動などを目的に世界を回る船「レース・フォー・ウォーター号」がやってきました。

この船は太陽光や風力発電、また海水を真水から水素に変換し燃料電池に蓄電するなど、100%再生エネルギーで航行し、かつ二酸化炭素の排出はゼロという船です。

### ■レース・フォー・ウォーター号とは

この船の世界をめぐる活動は海洋保全に係る3つのミッションからなっています。海洋プラスチック汚染について、1) 学び、2) 行動し、3) 共有し、プラスチック公害をなくすことを目指すというものです。毎年約800万トンものプラスチックが流出しており、その原因は陸にあり、これを止めることを目指しているのです。

<https://www.raceforwater.org/ja/>

海洋プラスチックは波しぶきとともに大気中に拡散され、大気汚染の原因にもなっており、知らないうちに呼吸を通じて私たちの体のなかに取り込まれているともいわれています。

防災棧橋に停泊の様子



■レース・フォー・ウォーター概要  
豊富な太陽、風、水で無限の航行を可能にした。  
全長 31~35m  
全幅 15.8~23m  
高さ 6.3m

操舵室（左下写真は操舵室の機器類）で航行の際の太陽光発電や風、水素などのエネルギー利用について説明を受けた後、発電の仕組みを聞きました（右下写真）。



操舵室機器類



防災棧橋に停泊の様子

■今回の企画「2050年のサステナブル目標～エネルギーを再エネ100%へ～ 鼎談 on レース・フォー・ウォーター号」では、品川区 和氣副区長、(株)丸井グループ 関崎氏、サラヤ(株) 更家社長、三者による鼎談（ていだん：3人で向かい合っただの話）が行われました。

司会・コーディネーターはTV朝日山口アナウンサー



品川区では環境計画の見直しを図り、区民とともにエネルギー消費を抑える取組などの紹介があり、(株)丸井からは、店舗の消費電

力がエネルギー消費の八割を占めていることから、その削減に取り組んでいることについての説明がありました。また、サラヤ(株)からは、年間800万トンものプラスチックが海に排出されていることによりマイクロプラスチック問題が拡大し続けていることに対する取組として、包装材を一部バイオマスで製品化していることの説明がありました。

司会の山口氏はご自身が書いた「再エネ大国 日本」という書籍を紹介されました。

(注) 同書籍は、品川区環境情報活動センターのホームページ (ECOトピックス) で紹介されています。

<https://shinagawa-eco.jp/wp/coto/?p=2224>

今回の参加は、以下の3者でした。

- ・品川区
- ・株式会社丸井グループ (「RE100」企業代表)
- ・サラヤ株式会社 (「再エネ100宣言 RE Action」企業代表)

令和2年10月5日

環境記者 小野文義

---

**カテゴリ:** 令和2年度

**投稿日:** 2020年10月08日

## 環境問題に関する住民の高まる知識と意識

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2020年10月15日

2020年10月7日（水）、品川区環境情報活動センターで環境記者情報交換会があり、各自日頃の環境に関わる取り組みなどを発表しました。年々その内容（質）も高くなり、専門的な説明など出てきています。市民的活動とはいえレベルが高く、以下はその内容の一部です。



▲環境記者情報交換会の様子

発表者の中には、米国元副大統領アル・ゴア氏が立ち上げた“The Climate Reality Project”のプログラムのひとつ「クライメート・リアリティ・リーダーシップ・コミュニティ・トレーニング」に参加された方もいました。下写真は昨年10月、お台場のグランドニッコー東京で開催された第43回クライメート・リアリティ・リーダーシップ・コミュニティ・トレーニングでの集合写真です。



最前列中央 アル・ゴア氏

地球温暖化、気候変動について企業、自治体、NGO/NPO等の環境問題に取り組むリーダー総勢800名が参加。ゴア氏は500ページ以上ものパワーポイント資料を2時間半バージョンと15分バージョンとで説明しました。その説得力は「不都合な真実」でもわかるとお見事だった・・・とのことでした。

2日間にわたる濃密な研修を終えたメンバーには、アル・ゴア氏のプレゼンテーションデータ使用权を付与されたそうです。

なお、詳細について、品川区環境情報活動センターの環境学習講座（12月5日・土）が開催されるとのこと。

### ■出席者の報告と感想

今回の出席者の中には、ボランティアグループで、定期的に近隣の歩道の清掃と花壇の整備を行っている人、生ごみコンポストを利用している人、八潮のまわりの四季の移り変わりなどを記事にしている人、また新型コロナウ

ィルスにより活動の自粛が求められている中で工夫して可能な活動をしている人、マイクロプラスチックを出さないように徹底した行動をしている人など、様々な報告がありました。

特に海洋プラスチック問題については全員が興味を持っており、ペットボトルの商品を買わないとか、肉を紙で包んでくれるからお肉は精肉店で買うなど、様々な意見が出てプラスチックの話だけで30分以上かかりました。

今後も環境イベントに参加したり、環境情報を発信したりして環境問題への取り組みを行っていきたいと思っています。

令和2年10月8日

環境記者 小野文義

---

**カテゴリ:** 令和2年度

**投稿日:** 2020年10月15日

## 第39回環境記者情報交換会

カテゴリ：◆情報交換会

投稿日：2020年10月15日

令和2年10月7日(水)、第39回環境記者情報交換会が8名の環境記者のご出席のもと行われました。環境記者の皆さんから投稿された記事について、日頃の活動の様子、そして興味を持っていらっしゃる環境に関する事柄について、それぞれご報告いただきました。

後半は環境記者の林さんから米国元副大統領アル・ゴア氏が立ち上げた環境プロジェクトのプログラムについてのお話をしていただきました。



**真壁さん**は、「花交差点の仲間たち」というボランティアグループで、近隣の歩道の清掃と花壇の整備を行っていて、毎回その活動報告を記事にいただいています。この5月の活動は「新型コロナウイルス」で自粛要請があり、それでも三密対策そして東京国道事務所の立会いと大井警察署の協力も加わり無事に終えることができたそうです。

\* 『「花交差点の仲間たち」歩道花壇の植替え』

<https://shinagawa-eco.jp/wp/reporter/?p=4555>

**小野さん**は、東京サラヤ株式会社の方で、社員の有志のみなさんと年数回、「品川フラワーレンジャー」として聖蹟公園花壇で清掃、整備、花植替えなどを行っていて、毎回活動報告を記事に書いていただいています。記事の写真を見ると整備後の花壇はとても美しいですが、その下準備がたいへんというお話を伺いました。

もう一つ、海洋プラスチック問題への啓発活動などを目的に世界を回る船「レース・フォー・ウォーター号」のお話もしていただきました。

\* 『海洋プラスチック問題啓発船「レース・フォー・ウォーター号」がやってきた』

<https://shinagawa-eco.jp/wp/reporter/?p=4752>

**石田さん**は、いつも八潮のまわりの四季の移り変わりなどを丁寧に記事にしてくださいます。今回は5月29日に青い空に舞ったアクロバットチーム「ブルーインパルス」の飛行を投稿してくださいました。できるだけ空が広く見える所を探して御殿山あたりで待ち構えたそうです。グッド・ショット！！

\* 『ブルーインパルス飛行で医療従事者に感謝』

<https://shinagawa-eco.jp/wp/reporter/?p=4546>

**新居崎さん**は、西中延3丁目町会の町会長になられ、8月に新型コロナウイルスの収束を願って「私のアマビエコンテスト」なるものを開催されたそうです。下は3歳から上は88歳まで合計46作品の「私のアマビエ」の応募があり、コロナ禍で町会員のコミュニケーションを少しでも豊かにする良い企画だったとの声が多く聞かれたそうです。

**小滝さん**は、いつも環境に関する幅広い題材をこの八潮から投稿してくださいます。今回も様々な植物、野鳥などの写真とともにいくつかの記事を書いてくださいました。プラスチックごみを増やさないと自分なりの工夫を書いた記事、お勧めの本「ウィルスは悪者か」を紹介した記事、セミのなき声を取り入れた「八潮セミとり日記」、

など今回もバラエティに富んでいました。

また、環境情報活動センターの環境講座「何がいるかな？品川の水辺の生きものたち」に参加いただき、その時の模様のお話を伺いました。

\* 『八潮セミとり日記～8月～』 <https://shinagawa-eco.jp/wp/reporter/?p=4654>

\* 『環境講座見学記』 <https://shinagawa-eco.jp/wp/reporter/?p=4732>

**真田さん**は、以前「ダンボールコンポストを始めて1年が経ちました」という記事を投稿してくださいました。今回は家庭で使うスポンジがマイクロプラスチックの集合体なので、ご自分は綿100%のふきんを使用しているという「綿100%の『ふきん』で食器洗い」という記事を投稿されました。湯洗いで基本的に油污れは落ち、プラスチックごみも出ない、洗剤も使わないということでした。

\* 『綿100%の「ふきん」で食器洗い』

<https://shinagawa-eco.jp/wp/reporter/?p=4708>

**岑山さん**は、パイナップルの葉の繊維から作られたヴィーガンレザーのバッグや小物の会社を立ち上げ、その自社ブランドのデザイナーでもあるそうです。

SDGsに興味を持たれ、ベランダで生ゴミコンポストを始め、その様子をInstagramで発信していらっしゃいます。

\* 『生ゴミコンポスト』 <https://shinagawa-eco.jp/wp/reporter/?p=4572>

**林さん**は、「地球温暖化防止コミュニケーター」という肩書きをお持ちで米国元副大統領アル・ゴア氏が立ち上げた環境プロジェクトのプログラムに参加、そのプレゼンテーションの使用権を付与されています。そして身近なコミュニティで気候危機について仲間を啓発し、紹介していきたいと考えているそうです。

また、来る12月5日（土）には環境情報活動センターの環境講座「地球温暖化と気候危機時代を諦めない」の講師をお願いしています。

\* 『クライメイト・リアリティ・リーダーシップ・コミュニティ・トレーニング』

<https://shinagawa-eco.jp/wp/reporter/?p=4327>

ここに紹介できなかった記事は環境情報活動センターのホームページでご覧になれます。

<https://shinagawa-eco.jp/wp/reporter/?cat=23>

<https://shinagawa-eco.jp/wp/reporter/?cat=20>

令和2年10月9日

---

**カテゴリ**：◆情報交換会

**投稿日**：2020年10月15日



## 「小さな秋」いただきました

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2020年10月28日

---

山国育ちの私は、京浜運河緑道公園を歩いていて珍しい物を見つけ、びっくりしました。こんな都会に誰が運んで来たのでしょうか・・・？ 『むかご』です。

皆さんは自然薯をご存じと思いますが山芋の一種で、地下に育った芋をとろろ汁として食べた事があると思います。山芋は地上にもツルを伸ばし、秋になると葉の付け根に養分を貯え、1cm位の大きさの丸い実となります。それが「むかご」です。

京浜運河緑道公園でも、背の低い木々にツタが絡まりつき、葉っぱが黄色く色づき、ツルの葉の所にたくさん実が付いていました。晩秋にはツルも枯れ、実も落ち子供を増やすそうです。



私は昔を思い出し、ツルの下に落ちていた「むかご」を拾い、お米といっしょに炊いて「むかご飯」にしてみました。ほくほくした食感が懐かしく、「小さな秋」を頂き、味わいました。他に塩茹でにして食べる事もあります。自然の観察を通し、コロナ禍の中、秋の良い体験を致しました。

令和2年10月26日

環境記者 石田雅子

---

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2020年10月28日

## 緑道公園 秋さがし

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2020年10月28日

曇りや雨の日が多かったコロナ禍の10月、朝晩の冷え込みも一段と増して来て、関東の高い山々には紅葉が見頃というニュースも聞こえて来ます。久しぶりの秋晴れだった10月20日（火）の午後、爽やかな風に吹かれながら京浜運河緑道公園を歩いてみました。木々の葉も少しずつ色づきが始まっていました。



春に白い花が咲いていた『どんぐり』の木、6月ごろ枝先に沢山青い実をつけていたので成長を楽しみにしていました。驚いた事に枝先には実は無く、木の下にたくさん落ちていました。道端に転がったどんぐりは踏まれて無残な姿でした。



松の枝先に花を見たのは、ちょうど桜が満開の3月の終わり頃、「松ぼっくり」の赤ちゃんが、だんだん膨らみ始め、青い実になったのは夏のはじめでした。今年の夏は特に暑かったのですが、段々傘のように開き始め、枝についていた「松ぼっくり」。さて、今はどうなったかとても楽しみでした。台風14号や低気圧の影響で、雨・風に振るい落とされたのでしょうか・・・？木の下にたくさん落ちていました。

そうだ今年もクリスマスリースを作ろうと思いたち、綺麗な松ボックリを拾い集めて来ました。



木々達も成長しながら子孫を作り終え、そして、これから迎える厳しい冬の準備をするのでしょうか。秋の京浜運河緑道公園の木々を見上げ、季節と共に巡る自然の営みをしみじみ感じました。

令和2年10月26日

環境記者 石田雅子

---

カテゴリ : 令和2年度

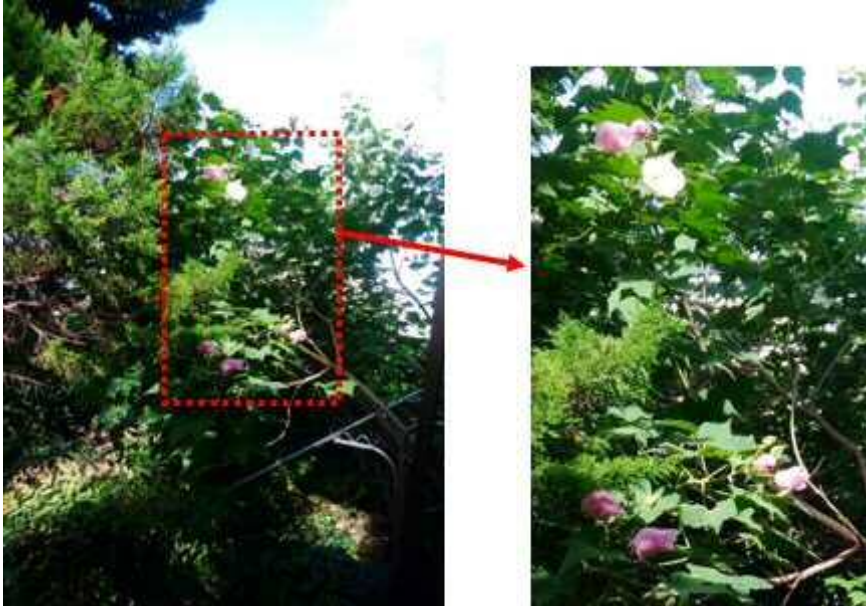
投稿日 : 2020年10月28日

## 酔芙蓉の心変わり

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2020年11月06日

庭の酔芙蓉が今年も目を楽しませてくれています。夏の終わりに咲き始め、今に至るまで花をつけています。繊細な美しさだけではなく、心に触れるエピソードを持つ花でもあります。



酔芙蓉は、朝、花が咲いて夕方には散ってしまうのですが、1日のなかで花色が白から濃いピンクへと変化していくという特徴があります。

「酔芙蓉」という名前の由来は、花色が赤く変化していく様子がお酒を飲んで酔っているようだからだということです。面白いですね。また、花言葉は「心変わり」や「幸せの再来」などです。花色が変わっていき、再び綺麗に咲き誇る様からつけられているのでしょうか。言い得て妙です。

さて、酔芙蓉を魅力的で興味をひく花にしている現象は、どのような理由で起こっているのでしょうか。花の色が変わるのは、アントシアニンの合成の結果です。アントシアニンは25℃以上の気温で合成し、合成すると植物内の酸素量が増えます。すると白色だったものがピンクへと変化する仕組みです。そのため、気温が25℃を下回る日は色がほとんど変わりません。

今年の酔芙蓉の季節は終わろうとしています。また酔芙蓉を愛でる季節が巡ってくることを楽しみにしています。

参考：'Horti by GreenSnap'

(<https://horti.jp/?s=%E9%85%94%E8%8A%99%E8%93%89&x=0&y=0>)

令和2年11月2日

環境記者 高塚純江

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2020年11月06日

## 菅内閣総理大臣、所信表明演説でグリーン社会の実現を宣言！

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2020年11月17日



損保ジャパン（「気象庁風力発電の画像」より）

令和2年10月26日、菅内閣総理大臣が所信表明演説にて、日本も2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすることを宣言しました。日本はパリ協定に署名しながら、2050年までに温室効果ガスの排出を全体として実質ゼロにすることを公式に宣言することは初めてだったようです。

CO<sub>2</sub>の排出量を減らす為に再エネへの転換を進め、産業プロセスや建物のエネルギー効率を改善し、またCO<sub>2</sub>を大気放散前に回収して地層に貯留する炭素貯蔵技術CCS（Carbon dioxide Capture and Storage）などを利用して実現していくそうです。実現に向けてまだ課題も多いとは思いますが、世界は確実に脱炭素社会の構築に向かっていきます。日本も国や自治体、金融機関、民間の大企業がすでに様々な取り組みを始めていますが、これから一層加速していくと考えられます。

私たちは個人として何ができるのでしょうか？まずは契約している電力会社を、自然エネルギーを電源とする電力会社に変えたり、脱炭素に取り組む企業の商品を積極的に購入したりすることが大切ですが、日々の買い物でプラスチック包装が過剰な商品の購入を控えるだけでも、変化を生む事はできると思います。

以下は所信表明演説の「グリーン社会への実現」の項目です。

### 三 グリーン社会の実現

菅政権では、成長戦略の柱に経済と環境の好循環を掲げて、グリーン社会の実現に最大限注力してまいります。

我が国は、二〇五〇年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち二〇五〇年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを、ここに宣言いたします。

もはや、温暖化への対応は経済成長の制約ではありません。積極的に温暖化対策を行うことが、産業構造や経済社会の変革をもたらし、大きな成長につながるという発想の転換が必要です。

鍵となるのは、次世代型太陽電池、カーボンリサイクルをはじめとした、革新的なイノベーションです。実用化を見据えた研究開発を加速度的に促進します。規制改革などの政策を総動員し、グリーン投資の更なる普及を進めるとともに、脱炭素社会の実現に向けて、国と地方で検討を行う新たな場を創設するなど、総力を挙げて取り組みます。環境関連分野のデジタル化により、効率的、効果的にグリーン化を進めていきます。世界のグリーン産業をけん引し、経済と環境の好循環をつくり出してまいります。

省エネルギーを徹底し、再生可能エネルギーを最大限導入するとともに、安全最優先で原子力政策を進めることで、安定的なエネルギー供給を確立します。長年続けてきた石炭火力発電に対する政策を抜本的に転換します。

全文はこちらから読むことができます。

[https://www.kantei.go.jp/jp/99\\_suga/statement/2020/1026shoshinhyomei.html](https://www.kantei.go.jp/jp/99_suga/statement/2020/1026shoshinhyomei.html)

令和2年11月16日

環境記者 岑山萌子

カテゴリ : 令和2年度

投稿日 : 2020年11月17日

## 「花交差点の仲間たち」歩道花壇の植替え

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2020年11月19日

日時：令和2年11月15日（日）9：00～10：00

参加者：55名

南大井2丁目（大森海岸駅前～しながわ水族館入口まで）8棟のマンション前 国道沿い歩道花壇の植替えを行いました。

11月7日に32名で地拵え、花壇の土を休めるため一週間空けての植栽日です。

穏やかな植替え日和となりました。

「コロナウィルス」感染拡大の中、大勢集まることでの心配もありましたが、感染対策をしたうえで55名が参加しました。国土交通省東京国道事務所の立会いと大井警察署のご協力により、40分程で植替えは無事終わりました。

植えた花苗は「パンジー・シクラメン・デージー・ノースポール・マーガレット・キンセンカ・ビオラ」

今回大きく育った良い花苗が届きました！



大森ハイツ



大森パークハイツ



海岸ハウス大森



ライオンズマンション大森



LM 大森海岸



LM 大森第三



日興パレス（パークフロント品川）



華やかな花壇になりました。

「コロナ感染拡大 これからどうなるの・・・！」  
感染対策など気遣いはまだまだ続きそうですが、

花たちを眺め気晴らし、気分転換したいと思います。



令和2年11月17日

環境記者 真壁美枝子

---

**カテゴリ:** 令和2年度

**投稿日:** 2020年11月19日



## 私の散歩道 ～黄葉・紅葉編～

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2020年12月11日

今年の晩秋・初冬は気温差が激しい。だから、あちこちの黄葉・紅葉が美しいそうです。というものの今月に入って東京都は「65歳以上の外出自粛要請」が発信されています。近場でのウォーキングを兼ねて撮りためた黄葉・紅葉をひとときの「お部屋でウォーキング」とともにお楽しみください。

11月15日 品川区民公園北口



11月17日 品川シーサイド駅界隈



11月18日 八潮公園



11月26日 原美術館界隈



12月4日 大井町駅東口



12月4日 八潮潮路南広場



令和2年12月6日  
環境記者 小滝静子

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2020年12月11日



## しながわ水族館周辺の今

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2020年12月15日

12月11日、しながわ区民公園内を散策しました。水族館周辺を紹介します。  
区民公園内は段階的に再整備が進められ、南側ゾーンのしながわ水族館周辺の工事は令和元年8月から始まり、令和2年7月完了予定でしたが、「新型コロナウイルス」感染拡大で工事が遅れています。  
12月末完成予定です。

しながわ区民公園南側入口にある水族館を案内するイルカのモニュメント  
奥に進むと正面にペンギンがお出迎え、道案内しています。

公園内に何羽いるか数えるのも楽しみですよ！



右側に行くと休憩所や水族館へ・・・

休憩場所はウッドデッキになっていて、優しい造りになっています

屋根は帆船のような流線形、屋根の白と空の青の対比が映えますね！



左側に行くと松の木がある芝生の広場になっています



真っ赤に紅葉しているのは「メタセコイヤ」です



緑地は暖をとる「むしろ」のようなもので覆われていて、来春どのような花が咲くか楽しみです。  
高い場所からみた水族館周辺です 紅葉もそろそろ終わりですね！



令和2年12月14日  
環境記者 真壁美枝子

---

**カテゴリ**：令和2年度

**投稿日**：2020年12月15日

## 八潮団地に『冬もみじ』がやって来た！！

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2020年12月18日

霜月の末は静かに過ぎ、12月が始まるとがらりと空気も変わり、一段と寒さが増して来ました。今年の秋が暖かかったので紅葉を心配しましたが、12月10日過ぎ、歩きながら目に入る紅葉がいつになくさまざまに色づき、八潮団地の紅葉が始まりました。

八潮団地の『中通り』の紅葉です。



今年は特に八潮地域センターの所の「庭園の紅葉」が素晴らしく、鮮やかな赤・黄が青空に映えていました。



鈴かけ（プラタナス）の木を見上げたら、葉っぱは振るい落され、枝先に数枚しか残っていませんでしたが、可愛い鈴の実がいっぱいなっていました。

じっくり見上げ、晩秋・初冬を楽しみました。



令和2年12月17日

環境記者 石田雅子

**カテゴリ** : 令和2年度

**投稿日** : 2020年12月18日

## 家の電気をCO<sub>2</sub>排出ゼロの電気に切り替えました

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2020年12月21日

---

夏の暑い日、エアコンをつけるのを躊躇っていた私。なぜ躊躇っていたかという、電気を使うことでCO<sub>2</sub>が排出されるからです。しかし今年も地球温暖化の影響でしょうか、東京でも夏の最高気温が40℃ほどまで上がり、そんな事も言われていられず、エアコンという文明の力に恩恵を受けていました。しかしある日、電力会社によってはCO<sub>2</sub>を出さないプランがあることを知り、早速切り替えました。

手続きはネットで申し込みするだけでOK。切り替わる当日の停電の心配は無用。今まで通り電気が使えて普段通りの生活が送れています。

CO<sub>2</sub>を出すという罪悪感を抱かずに電気が使えてとても嬉しいです。

地球温暖化について自分は何をすればいいかわからない、どちらかと言うと面倒だと思っている方には、簡単にできる電力会社の切り替えをお勧めします。（\*）

それだけで家庭で出るCO<sub>2</sub>の約半分を削減できると言われています。

みなさんも電気をCO<sub>2</sub>が出ない自然エネルギーに切り替えませんか？

（\*）自然エネルギー主体の新電力会社をご紹介します。

・パワーシフトキャンペーン<https://power-shift.org/>

NPO等の12団体が連合しておすすめの新電力会社を紹介している情報サイト

東京電力管内では、<https://power-shift.org/map/> から推奨電力会社名を知ることができます。

・みんな電力 <https://minden.co.jp/>

・自然電力 <https://shizendenryoku.jp/>

・エネチェンジ<https://enechange.jp/>なお、他の会社にも同様メニューがありますので、これらはご参考になさってください。

令和2年12月20日

環境記者 真田千加子

---

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2020年12月21日



## 花壇の花、今満開です

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2021年02月10日

今年の冬は去年より今のところ暖かい。とはいうものの朝早く車のフロントガラスを見ると氷が張っていました。そんな中でも私が勤務する東京サラヤ(株)本社の花壇は、満開の花で通行人の目を引いています。



生物多様性というと動植物に関わることをイメージしますが、生物の多様性が保全されることにより美しい景観が保たれ、癒しの場が提供され、心を和ませてくれます。

子どものころ、遠足や林間学校などで郊外に出て自然に触れることで心の成長を促すことは重要なこととされており、生物多様性の大切さはこのようなことにも関わっています。

コロナ禍の今日、きれいな花々を静かにみるのもいかがでしょうか。

令和3年1月29日（金）聖蹟公園清掃美化活動

聖蹟公園は東海道品川宿本陣跡で品川区指定史跡となっています。



昨日（1月28日）は午後になると一時雪が降り、そのせいか今朝は少し寒く感じました。

そんな中、会社の有志3名で公園の清掃美化活動を行いましたのでその様子を報告いたします。



「みどりと花のボランティア」の活動として草花を植替えしている花壇の花は、現在枯れておりますが、今月末には植替えを行う計画です。

#### ■参加者感想

「お菓子やプラスチック片などのごみが多かったです。ごみ箱が設置してある公園なのにもったいないと思いました。」

「折角の憩いの場に、煙草の吸殻がいくつか落ちていたので、少し残念に思いました。また参加したいと思えます。」

令和3年2月5日

環境記者 小野文義

---

**カテゴリ**：令和2年度

**投稿日**：2021年02月10日

## 春の足音が・・・

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2021年02月15日

暦の上では立春も過ぎ、日の光もまぶしさが強くなり、すっきりとした青空が続いている2月の今日この頃です。そんな陽気に誘われて八潮団地内や京浜運河沿いを歩いてみました。まだまだ、辺りは冬枯れの景色でしたが、運河の水面もきらきら輝き、水鳥が水中の餌を捕ったり、波に揺られながら楽しそうに戯れていました。



早春を渡る風はまだ冷たいですが、今年は晴天が続いています。早くも梅の花がほころび始め、明るい日差しの中にかすかに香りが漂い、青空に映えていました。運河の土手には早咲きの菜の花がところどころに咲き、岸边を歩く人やジョギングの人達の目を楽しませてくれていました。



都立京浜運河緑道公園の桜の枝で蜜柑をついばむメジロを見つけました。誰が餌を付けたのでしょうか・・・？ そっと近づきパチリ。こんなに近くで自然な姿を見る事が出来、感激・感激でした。



暖かな太陽の光を身体いっぱい浴び、休み処で休憩しました。日向ぼっこをしながら季節が廻り、そろりそろりと近づいてくる「春の息吹」と「小さな幸せ」を感じました。

令和3年2月9日  
環境記者 石田雅子

---

**カテゴリ:** 令和2年度

**投稿日:** 2021年02月15日

## 私の散歩道 ～寒緋桜編～

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2021年03月01日

今年に入って荏原神社へ立ち寄る機会が2週間に一度ありました。これ幸いに神社入口の寒緋桜を追ってみることにしました。約1ヶ月の生い立ち、みなさまもご鑑賞ください。2月に入るとメジロたちも花の蜜を大いに楽しんでいました。

1)1月18日



2)1月31日



3)2月10日



4)2月15日(雨)



5)2月16日



6)2月21日



令和3年2月23日  
環境記者 小滝静子

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2021年03月01日

## 聖蹟公園花壇花植替え

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2021年03月10日

令和3年2月26日（金）午後2時～3時、恒例になっている「しながわ『みどりと花のボランティア』活動」を行いました。この活動は、私が勤務する東京サラヤ(株)東京本社・支店が有志を募り、「品川フラワーレンジャー」という団体名で活動しています。

この活動は、品川区が「緑ゆたかな花のあるまちづくりを進めるために、品川区立公園・児童遊園・道路などの維持管理や花壇のお手入れなどをしていただける方を募集」しているもので、私たちの活動は10年以上続いています。

■雨が降りそうな空模様、降らないうちにと急いで始めました



聖蹟公園入口



植替え予定の花壇

■植替え準備



植え替えるため枯草を抜いたあと花壇を耕しました

## ■コント



Aさん「あなた植えなさいよ」  
Bさん「いやいや」「あなたが植えなさいよ」  
Cさん「じゃ、私が」  
Aさん、Bさん「どうぞどうぞ」^^

和気あいあい、  
楽しい清掃活動になりました。  
開始30分程度で植替えが  
終わりました。

## ■水まき



最後に水を撒いて終了



お疲れ様でした

## ■参加者感想

<Aさん>

久々に花と触れ合うことができました。  
いつも通っている公園なので春に満開になるのが楽しみです。

<Bさん>

今回初めて聖蹟公園の花壇の植替えを行いました。  
作業中にご近所の方から「綺麗なお花ですね」とお声がけをいただき、綺麗な花壇を保っているのは色々な方の協力や定期的にサポートをいただいているからだ実感しました。  
また参加したいです。

令和3年3月5日

環境記者 小野文義

---

カテゴリ : 令和2年度

投稿日 : 2021年03月10日



## 東八ツ山公園の桜が開花しました

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2021年03月18日

今朝、品川駅港南口からインターシティーを抜けての通勤途中で桜の開花写真を撮りました。5輪ほど咲いていました。3月16日（火）8:00

場所は東八ツ山公園で、八ツ山通りに沿って広がる細長い公園です。この公園は品川区と港区にまたがって位置し、花見の名所として知られています。



東京の桜（ソメイヨシノ）の標本木である靖国神社の桜は14日に開花しましたが、これは1953年の統計開始以降、昨年に並ぶ史上最速の開花です。このところ桜の開花時期は各地で早くなっているようですね。

コロナ禍の中、沈みがちな気分も桜が明るくしてくれます。

“春よこい、早く来い♪・・・”といった気分です。

令和3年3月16日

環境記者 小野文義

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2021年03月18日

## 2021年の桜／しながわ区民公園～花海道

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2021年03月24日

3月22（月）東京では桜満開情報！

前日の風雨に耐え満開に・・・満開前の雨は開花を促すそうです。

桜の広場の開花状態が気になり、散歩を兼ねて出かけました。

「しながわ区民公園水族館口～桜の広場～花海道」

【しながわ水族館前】

月曜日の11時、水族館への来館者も少なく、ちょっと淋しい感じです。

ウッドデッキには人影チラホラです。

水族館前の改修工事で桜は2本残りました。まだ3分咲きくらいでしょうか・・・？



桜の広場に向かう途中で出会った花たちです♪・・・



【桜の広場】

6分咲きくらいでしょうか？ テーブルは撤去され、広場には数人のみ・・・



### 【しながわ花海道】

花海道沿いの小さな公園にあるブルーシートで覆われテーブルは使用禁止！  
桜のトンネルの散歩道になっていた花海道は、昨年古木が伐採整理され淋しい。  
目黒川沿いになるといいですね。

「さくら・菜の花・芝桜」のベストポジションなのに・・・菜の花がわずかでした。



今年は宴会なしのお花見！来年に期待したいと思います。

令和3年3月23日  
環境記者 眞壁美枝子

---

カテゴリ：令和2年度

投稿日：2021年03月24日